

## 名古屋市情報教育研究会発表大会

平成23年10月19日（水）名古屋市教育センター講堂において、名古屋市情報教育研究会発表大会が行われました。そこで、今回は研究部の発表の内容についてお知らせします。

### 1 研究主題

本年度、名古屋市情報教育研究会は、新たな研究主題

### 「共に学び、確かな学力と豊かな心をはぐくむ情報教育」

を掲げました。

研究主題のはじめにある「共に学び」に着目した理由としては、近年ますます進展するネットワーク社会を生きる子どもたちに、相手を意識し、人とつながり、共に学ぶことを通して課題を解決する力や、学ぶ喜びを味わうことが大切と考えたからです。

そして、共に学ぶ中で、「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむ研究を、子どもたちの情報活用能力の育成と、ICTを活用した分かる授業づくりの二本の柱で進めていくことにしました。

これらのテーマに基づいて、研究部では、情報活用能力研究部とICT活用研究部の2つの部で研究を進めることとしました。



### 2 研究部の発表

#### (1) 情報活用能力研究部

本年度のテーマは「共に学ぶ活動を通して情報活用能力を育成する学習の探究」です。

実践者は、子どもたちが情報の交流を行う中で情報活用能力を育成することができる学習の探究に取り組んでいます。

発表では、3つの実践について、子どもたちが情報の交流を行った場面を中心に紹介しました。《情報を整理する場面で情報の交流を行う学習（小2生活科）》



情報マップを活用して、情報の交流を行う子どもたち

生活科の授業で育てた野菜の観察記録を整理するときに、自分の観察記録を振り返ったり、友達の観察記録と自分の観察記録を比較したりすることができるように工夫した「情報マップ」を作成しました。情報マップを活用して情報の交流を行った結果、観察記録のかき方に工夫を加えて、様子が伝わるように書いたり、野菜の細かな成長の様子に気づいたりする子どもの姿を見ることができました。

#### 《情報を発信する場面で情報の交流を行う学習（小4総合的な学習の時間）》

総合的な学習の時間に行った「有松絞りの体験」についての発表会を行いました。リハーサルでは、話し手と聞き手が、改善するとよい発表技能や伝わりにくかった内容について伝え合う情報の交流活動を行いました。その結果、自分の発表を見直したり、新たな目標を設定して発表技能の向上に努めたりする子どもの姿が見られ、生き生きとした表情で内容の充実した発表をすることができました。

#### 《情報を加工する場面で情報の交流を行う学習（小6総合的な学習の時間）》

修学旅行で訪れる場所の情報をインターネットを使って集め、お互いに紹介するためのパンフレット作りを行いました。インターネットで集めた情報をパンフレットではどのように使ったらよいか、三人のグループで話し合い、分析したり、整理したりして選んだ情報を、パンフレット作りに生かしました。その結果、自分の言葉で思いが伝わるパンフレットを作成することができました。また、修学旅行では作成したパンフレットを見ながら、訪れた場所を楽しく見学する子どもたちの様子も見られました。

#### (2) ICT活用研究部

本年度のテーマは「教科指導において、ICT機器を効果的に活用した指導法の探究」です。

実践者は、ICT機器を活用する場面において、教師が意図した効果を以下の観点から分類すること、どの場面において、どのようなICT機器を活用すれば確かな学力をはぐくむ上で効果的かを明らかにすることの2点を研究の重点として取り組んでいます。以下は、分類した活用の観点です。

#### 教師による活用の観点

- ・ 興味・関心を高める提示
- ・ 課題が明確になる提示
- ・ 思考や理解を深める提示
- ・ 知識の定着を図る提示

#### 児童・生徒による活用の観点

- ・ 資料からの情報の読み取り
- ・ 文章や表、図などによるまとめ
- ・ 分かりやすい発表・表現
- ・ 繰り返しの学習や練習

発表では、5人の発表者によるディスカッション形式で以下のような発表を行いました。

学年	教科	単元	利用したICT機器	活用の観点
小4	社会科	火事からくらしを守る	プロジェクタ 書画カメラ	興味・関心を高める提示
小3	理科	太陽の動きと地面の様子をしらべよう	プロジェクタ 書画カメラ	文章や表、図などによるまとめ
小5	国語科	漢字学習での活用	プロジェクタ 書画カメラ	知識の定着を図る提示
小1	生活科	わたしのつうがくろ	電子黒板	課題が明確になる提示
小5	家庭科	見つめよう家庭生活	電子黒板	分かりやすい発表・表現
小6	音楽科	じゅんかんコードから音楽をつくろう	音楽作成ソフト	分かりやすい発表・表現
小4	体育科	かん単バスケットボール	ビデオカメラ	思考や理解を深める提示

それぞれの実践を活用の観点に照らし合わせながら紹介する中で、ICT機器活用の有効性を発表していきました。

また、子どもたちに身に付けさせたい力をはっきりさせ、そのための道具としてICT機器を活用していくことや、「なぜ教師がICT機器を使うのか」という意図をもって活用していくことの大切さについて、発表の中で確認されました。



研究部の活動の詳細内容は名情研Webページをご覧ください。

